

少年問題を考える鳥取の会

会の設立 2004年8月

会員数 10名

活動を始めたきっかけ・目的

私たちは、自分自身の子育ての中で、鳥取県の10代の人工中絶率が全国トップであることや軽犯罪の発生率が高いこと、中学校入学時に登校拒否の子ども達が激増する事などを知りました。そのような現状に心を痛めている子育て世代の保護者などを中心に30代~60代までの方が集まり、何らかの形で理解ある人の輪を広げることの必要性を感じ、会の設立に至りました。

この会の目的は以下の3点

- 子育ての悩みを交換し合って、希望を得られるよう力を合せる。
- 子どもの自立を妨げる少年問題に取り組む
- 子どもの本音に耳を傾け共に育ちあえる環境をつくる。



主な活動・PR等

- ・講演会等で、子どもたちの目線で考える事のできる大人たちへのメッセージを伝えたり、若者たちのサポーター等をする。
- ・大人たちに、子どもの心の苦しみに耳を傾けて頂きたいと思いながら活動しています。

大人として子どもたちの心に寄りそいたいと思います。

薬物、いじめ等、若者の心の声に耳を(心を)かたむけましょう。

【団体への加入方法】

入会金 1,000 円を添えて申込書に記入して下さい。立脇まで電話を頂ければと思います。

「優しい心が一番大切だよ」NPO法人ジェントルハート理事 小森美登里さんの講演会。一人娘をいじめという形で、自殺に追い込まれてしまった母の辛さを語っていただきました。いじめの問題は、大人が子どもとともに考えていくことが大切だと教わりました。彼女のような思いをしている方たちを支える事の大切さが求められている、子どもたちを守るために大人が変わっていかねばならないと痛感しました。



「アディクションフォーラムin鳥取」では、ダルク(薬物依存症回復施設)と実行委員とともに、多種にわたる、アディクション(依存症)について、当事者・家族・関係者の方からお話をいただきました。茨城ダルク岩井代表にもお話いただき、今後の課題もいただきました。現実問題として相談される方もあり、後日電話で相談もいただきました。今後も継続したい事業となりました。

「家族の絆」プロのグループコクーンを招きライブをしました。ストリートライブをしている キンシコウカズヤも参加して熱いハートを披露してくれました。コクーンのお二人の、鋭くも優しい思いはいろいろの方の心に刻まれたことでしょう。子どもたちにどんな形で「愛」を伝えるのかのきっかけにもなったと思います。(最後には私もステージで家族に対する思いを涙ながらに語りました。)

| | |
|-------|---------------------------------|
| 代表者 | 立脇 寿江 |
| 問い合わせ | 住所 〒680-0941 鳥取市南安長1-8-13 |
| | 電話 (0857)28-8311 *7:30~17:00まで |
| | 携帯 090-7509-8170 |
| | Eメール tachi-t@ms14.megaegg.ne.jp |